



猫ジジがジジイの時事評論をお届け

自衛隊が政治を左右しようとしていた・・・

法制を軍事に従属

自衛隊制服組のトップ、河野統幕議長は米国防副長官と昨年十二月十八日に会談。「この後行われる米軍と自衛隊の協力の指針(ガイドライン)の見直しに安保法制を合わせる為に安保法制案の作成が延期になった」趣旨を発言。「安保法制」は軍事に従属!

国会にも報告しない

共産党の仁平参議院議員の追及に政府は河野統幕議長の訪米報告の存在を認めた。しかし、内容が違うという。「どこが違うか説明すると会談の中身が明らかになる。だから国会にも報告しない」と云う。本当の会談の中身はもつと赤裸々に米軍に追隨して戦争に出かけると書いてあったの

ではないか。

昔天皇今米軍

昔の大本営の頭領は天皇。今、自衛隊は米軍を頭領と仰ぐのか?

選挙を左右しよう

統幕議長はダンフオード海兵隊司令官に「沖縄県知事選時には在日米軍勤務時間外行動指針の実施、地域情勢に配慮して頂き感謝する。(残念ながら)結果として普天間移設反対派の(翁長)知事が就任した」と述べた。

普天間基地の辺野古移転を承認した仲井真前知事の再選目指し、自衛隊や米軍が動いていたのだ。

これは自衛隊が政治を左右しようとしたこと。軍政を目指し? みなさんはどう思われますか?

南部曲り家



遠野市附馬牛町
つきもうちしちよう

日本美術会の写生会で岩手県の遠野市を訪れた。ふるさと村には南部曲り家が六棟ある。

右の大きな部分が母屋。左が厩うまや。このようにL字型の間取りから「曲り家」と呼ぶ。住居からいつでも馬の様子が見える。そして北西の季節風を避けることが出来る。家の背後には屋敷林もある。

厩から母屋にかけての、向こう側の一角に土間があり、炉やかまどがある。薪を焚くと、煙は厩の破風から出ていく。これにより馬の背や屋根裏の乾し草を乾かすことができるのだと云う。

この家は「肝煎り」即ち庄屋の家。一二六坪という大きさを誇る。庄屋として格式が高い建物で、式台と云い、身分の高い人が来たとき挨拶、用件を受ける部屋もある。